

イワイ株式会社の環境行動計画

平成 20 年 5 月 23 日

■ 取組方針

環境基本理念

イワイ株式会社は、地球環境問題が人類共通の問題であることを認識し、企業活動と地球環境の調和を目指すとともに、環境負荷の少ない商品・情報機器の提案など、事業を通して持続的発展可能な社会の構築に貢献します。

環境行動指針

私たちは、当社の事業活動が環境に及ぼす影響を最小限にとどめるために、以下の行動に取り組みます。

- ① 環境負荷の少ない商品の提案活動を通して、地域社会の環境保全への意識向上に努めます。
- ② 節水、節電などの省エネルギー活動により、地球温暖化防止に努めます。
- ③ 廃棄物の削減とリサイクルを進めます。
- ④ 資源の有効な利用を図ります。

この方針にそって、全ての従業員が高い環境意識をもち、環境に配慮した行動ができるように、環境教育を実施します。また、地域での環境保全活動に積極的に参加できるように、社内の制度を整備します。

平成 20 年 5 月 23 日

イワイ株式会社

代表取締役社長 岩井 広政

■ 環境負荷低減の取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を削減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次の通りです。

| | |
|--------|--|
| 目標—1 | 二酸化炭素の排出量(売上高当たり)を、平成19年を基準として5年間に年3%ずつ削減する。 |
| 具体的な取組 | (事務所での取組) ① 冷房温度(27度)と暖房温度(20度)を厳守する ② エアコンの使用期間中は、毎月1回フィルターを清掃する ③ エアコンを使用しない期間は、動力ブレーカーを切る ④ 昼休みの消灯、パソコン・コピー機の電源OFFを徹底する ⑤ 休日前には、パソコンのコンセントを抜いておく ⑥ 節電(適正電圧の設定)装置の導入による効果を検討する (車両の使用に関する取組) ⑦ 天然ガス車や低燃費タイヤの導入を進める。 ⑧ 車両の点検を定期的に行う ⑨ アイドリングストップなど省燃費運転活動に取り組む。 |

| | |
|--------|--|
| 目標—2 | 廃棄物の排出量(売上高当たり)を、平成19年を基準として5年間に年3%ずつ削減する。 |
| 具体的な取組 | <p>(事務所での取組)</p> <p>① 廃棄物は、決められたごみ箱(可燃ごみ、不燃ごみ、コピー用紙、パンフレット、封筒、廃プラスチック)に分別して出す</p> <p>② メール、グループウェア等の活用により、ペーパーレス化に努める。</p> <p>③ トナーは再生充填リサイクル品を使用する。</p> <p>(商品の仕入れ・販売に関する取組)</p> <p>④ 梱包材の削減と再利用に努める。</p> <p>⑤ 再生が可能な引き取り商品・下取り商品は整備しリサイクル品(中古品)として再販売に努める。</p> |

| | |
|--------|--|
| 目標—3 | コピー用紙の使用量(売上高当たり)を、平成19年を基準として5年間に年3%ずつ削減する。 |
| 具体的な取組 | <p>① 作成した資料は、パソコン画面上での確認を徹底する</p> <p>② 社内資料は、両面コピー、縮小コピー、裏紙利用に努める</p> <p>③ コピー機のコピーボタンを押す前に、必ず設定を確認する</p> <p>④ 電子メディアの利用によってペーパーレス化を推進する</p> |

| | |
|--------|--|
| 目標—4 | 環境に配慮したOA機器・事務用品の使用・普及と地域社会への貢献活動を推進する |
| 具体的な取組 | <p>① 社内で使用するOA機器・事務用品・制服などはグリーン製品から選択する</p> <p>② 従業員全員がグリーン製品に関する商品知識を身につける</p> <p>③ 当社が取り扱うグリーン製品のリストを作成し、配布する</p> <p>④ 名刺、カタログ、封筒には再生紙と大豆油インクを使い、そのことを表示する</p> <p>⑤ 取引先などに対しても、上記の環境基本理念、環境行動指針を開示し、理解と協力を求めていく。</p> <p>⑥ 当社ホームページなどでも、上記の環境基本理念、環境行動指針を一般に公開して周知に努める。</p> |

■ 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画にそって環境保全活動を推進するために、取締役営業部長(環境管理責任者)を委員長とする環境推進委員会を設け、全従業員が「具体的な取組」を実行します。